

学校運営

1 校訓 「学而不厭」(がくじ ふえん)【まなびて いとわず】

- 学ぶとは・・・ 自分の意思で、読む書く話すなど何かを具体的に行うことを通して自分の中で何かが変わること（これまでとは違う自分を創ること）。
- 厭わずとは・・・ やりきろうとする意志を維持すること。より深く、より広く追究したいと感じる好奇心を持ち続けること。

2 学校教育目標

「自ら学ぶ力を身に付けた、心豊かでたくましい子供を育てる」

～ (な)かよし中田っ子、(か)んがえる中田っ子、(た)くましい中田っ子 ～

3 本年度の重点目標

- 豊かな心 <徳> (自分からあいさつしよう。)
- 学ぶ力 <知> (進んで考えを発表しよう。)
- たくましい身体 <体> (規則正しい生活をしよう。)

4 目指す子供像

- なかよし中田っ子 … 「自分からあいさつする」
- かんがえる中田っ子 … 「進んで考えを発表する」
- たくましい中田っ子 … 「規則正しい生活をする」

5 目指す学校像

- 楽しく学べる学校
- 安心して過ごせる学校
- 保護者、地域から信頼される学校

6 学校運営の方針

(1) 分かる喜びや学ぶ意義が実感できる授業づくりに取り組む

－「学校は学ぶ所である」－

- ① 協働意識をもち、個性や創意工夫を生かし、子供たちが分かる学習指導を展開する。
- ② 子供の実態や学習状況を踏まえ、各教科で育成する資質・能力を明らかにし授業実践を行う。
- ③ 授業実践を通して主体的・対話的で深い学びの視点から子供たち一人一人が活躍できるよう指導方法を改善する。
- ④ 校区1小学校1中学校の特色を活かし、9年間で子供を育てるという視点を大切にし、小中連携研修を推進する。

(2) 子供にとって安心して過ごせる学校づくりに教職員全員の力を合わせて取り組む

－「災害、事故はいつでもどこでもだれにでも発生する」－

- ① 学校いじめ防止基本方針に基づき、いじめは絶対に許さないという意志を教職員で共有する。
- ② 生徒指導委員会等を活用し、日常の子供たちの活動の様子を共有する場を大切にする。
- ③ 「報告－連絡－相談－確認」を日常化する。
- ④ 子供の自己有用感を高める場の工夫をする。
- ⑤ 教職員自ら体調管理に気を付け、不祥事を起こさないという意識を高める。また、教育活動にやりがいを見付け、仕事を楽しむ。

(3) 保護者、地域から信頼される学校運営に取り組む

－「子供たちの後ろには家庭があり、地域がある」－

- ① 学校要覧や学校だより、ホームページ、学習参観、地域懇談会等を通して学校の教育方針や特色ある教育活動、子供たちの状況等について適切に情報発信する。
- ② 学校の教育活動に地域の人々の協力を得るとともに、地域の教育資源や学習環境を活用する。
- ③ 学校評議委員会や保護者会等で学校評価を公表し、家庭や地域社会の学校運営に対する意見を的確に把握し、教育活動に生かす。